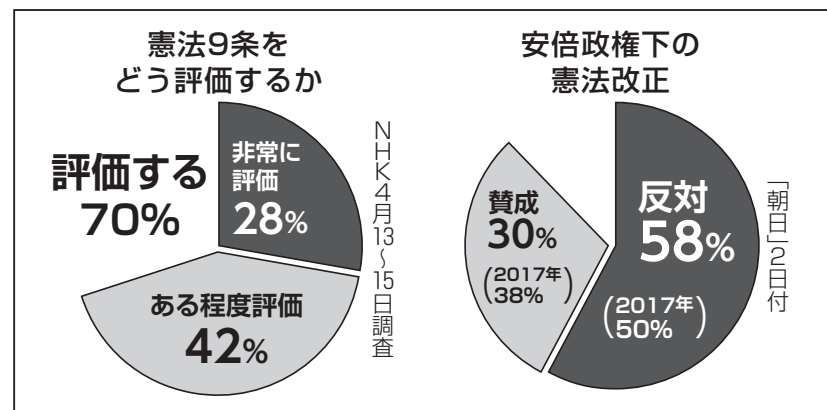


憲法生かした平和外交を

朝鮮半島 平和の激動

9条が生命力発揮

いま朝鮮半島では歴史的な平和の激動が起っています。南北首脳会談で発せられた「板門店宣言」は、「完全な非核化」と「年内の朝鮮戦争の終結」を宣言しました。日本共産党は、これを心から歓迎します。この成果を踏まえ、米朝首脳会談が大きな成功をおさめることを強く期待します。



この間の経過は、北朝鮮問題の解決は対話と外交によるしかないことを示しています。これに対して安倍首相は、北朝鮮問題を「国難」とまで言って北朝鮮の脅威をあおりつつ9条改憲の必要性和軍事力の強化を叫んできました。対話否定、圧力一辺倒の安倍路線は完全に破たんしました。

いま日本政府に求められていることは、憲法9条を生かした平和外交です。平和、協力、繁栄の北東アジアに進むため9条が新たな生命力を発揮するときです。

日本共産党

首相は9条に自衛隊を書き込んで何も変わらないと言います。しかし自民党がまとめた改憲案では、9条2項（戦力不保持）の後

「前条の規定は自衛の措置をとることを妨げない」という条文を加えることになっています。9条2項の制約を取り払うことです。

9条改憲でなく、戦争する軍隊への変質を許さないうことです。

海外での武力行使 無制限に

海外での武力行使を禁じてきた2項を取り払って無制限の海外での武力行使に道を開く、これが安倍改憲の狙いです。今なすべきは、

ストップ! 安倍改憲



集団的自衛権行使

空母・巡航ミサイル保有

イラク日報隠ぺい

幹部が国会議員を罵倒

首相が書き込むのは

安倍政権は末期状態ですが、9条改憲だけは絶対にあきらめません。首相が狙っている9条への自衛隊の明記。しかしその自衛隊は災害救助に汗を流す自衛隊ではありません。

安保法制によって集団的自衛権を行使し、長距離巡航ミサイルや空母を持ち、専守防衛をかなぐり捨てた自衛隊。「日報」を隠ぺいし、国民に選挙で選ばれた国会議員を「国民の敵だ」と罵倒する自衛隊です。

シビリアンコントロール（文民統制）の効かなくなっている自衛隊に大きな権限を与える9条改憲は、あまりにも危険です。

統制不能

危険な

自衛隊